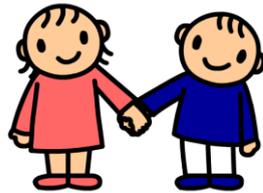


2. 各部の研究について

小学部



小学部 学年ごとのテーマ (R7)

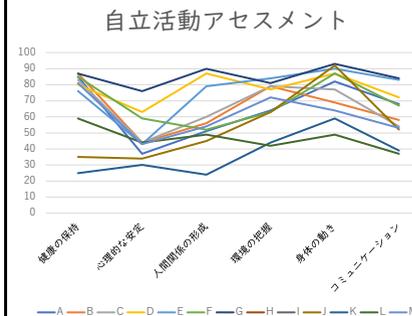
1年生	友達の輪を広げる 遊びの指導
2年生	子ども同士がつながる 朝の会・帰りの会
3年生	しっかり見る、聞く、一緒に学ぶ
4年生	実態差のある児童同士の学び合いを深める支援を探る ～友達と力を合わせて…動く・感じる・考える～
5年生	一人一人が役割をもてる集団の授業作り
6年生	主体的に学ぶ～よく見て、聞いて～

R7 小学部 取組

- ①各学年の実態に応じたテーマを設定し、授業作りに取り組む。
- ②各学年で指導案(略案も含む)を作成し、学び合いにおける目標設定を行い、授業実践後に児童の評価を丁寧に行い、児童の成長を記録していく。
- ③研究授業及び研究討議
児童の変容の見取り・チェックリストの活用

小学部 1年

友達の輪を広げる 遊びの指導



集団の実態を把握し
日頃の遊びから授業を構成する

小学部 1年



くじ引きでの
順番交代



活動内容が
分かるBGM

指導者も一緒に
楽しむ

友達遊びをまねし合う 自然な関わりへ

全校研 遊びの指導「はなまるワールドであそぼう」

<討議の内容>

・児童の学び合いの段階を考え、学年集団の実態を把握する。



・改めて児童それぞれの学び合いの段階について考えることができ、学年全体の実態が見えてきた。
・思ったより分かっていることがある。
・少し頑張れば、次のステップにいけるかも。

小学部 2年

子ども同士がつながる 朝の会



児童の興味・関心や実態に合った
役割を設定する

1	健康観察	
2	日付・曜日・天気	
3	今日の予定	
4	給食献立	
5	先生の話	
6	学年の歌	
7	合言葉	

小学部 2年

互いを意識でき
る座席配置



ペアでの係活動



タブレット端末の
活用

自分の役割に意欲的に取り組み
友達を意識して会を進行

小学部 3年

しっかり見る、聞く、一緒に学ぶ



発表場面や評価の機会を工夫し
友達の様子を意識できるように

小学部 3年



簡単なやり取り

協力する
必要のある課題



固定したペアや
グループでの活動

友達の良いところを見つけて褒めたり
応援したりする姿

部研 全体ことば・かず「ねずみさんのおかいもの」

<討議の内容>

・発表場面の設定や、その際の支援
の工夫について。

- ・一定流れで発表場面を設定する
ことで、簡単なやり取りの方法が身
に付いた。
- ・みんなの前で評価されることで、
意欲が高まった。
- ・学年に応じて表現の幅が広がるよ
うな工夫が必要。



小学部 4年

実態差のある児童同士の学び合いを深める支援を探る
～友達と力を合わせて…動く・感じる・考える～



一人一人が安心して活動できる環境・支援から
心の土台を作る

小学部 4年



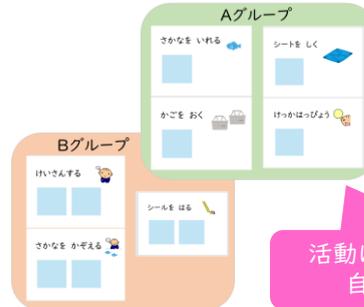
簡単なルールや
分かりやすい環境設定



自信や意欲をもって
友達との柔らかな関わりへ

小学部 5年

一人一人が役割をもてる集団の授業づくり



小学部 5年



自己有用感が生まれ、友達の得意な面や
不得意な面も認め合える集団に

小学部 6年

主体的に学ぶ～よく見て、聞いて～



小学部 6年



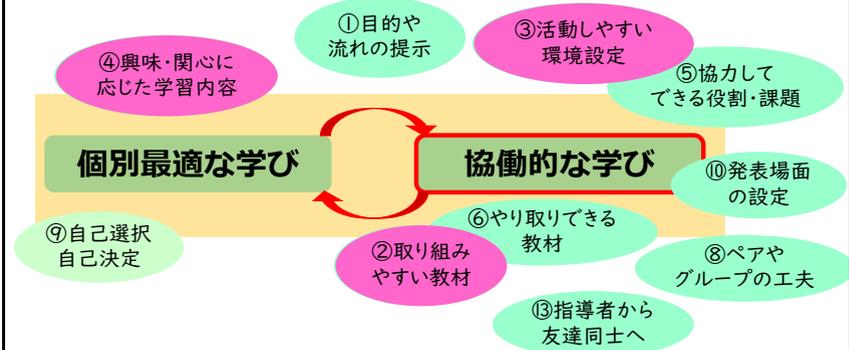
学習内容の工夫

互いの様子が
見える配置

課題の正誤を
判定する役割

**意欲的に発表し
友達をよく見て評価を伝える学び合い**

小学部 まとめ<成果>



小学部 まとめ<成果>

<昨年度の課題より>



他者理解の難しさ

役割を分担して
協力することで他者を知る

適切な関わり方を身に付ける

安心できる環境
教材を介した関わり

特定の見童に役割が偏る

実態に応じた役割の設定

実態に応じた学び合い

集団の実態を把握し
日常の興味・関心を利用

小学部 まとめ<課題>

実態に応じた
学習グループの編成



適切な関わり方を身に付ける

学習内容の検討
評価規準の設定

